



7 スチロバールいかだ

青森県立種差少年自然の家

○活動の概要○

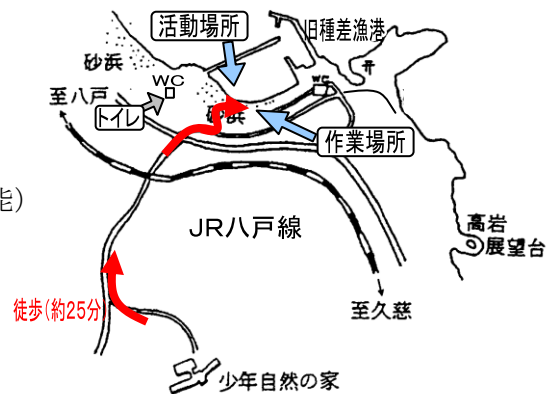
種差漁港までスチロバールを運んで午前中にいかだをつくり、午後につくったいかだに乗って遊びます。

1 ねらい

いかだを組み立てたり、こいだりする活動を通して、仲間と協力することの大切さや楽しさを感じさせます。

2 場所・人数・期間・時間

- ① 場所 種差漁港
人数 120人以内 ※小学校高学年以上が望ましい
(1グループ8～12人程度で10艇まで製作可能)
- ② 期間 5月上旬～10月中旬
- ③ 時間 午前、午後を通して5～6時間



3 職員の支援について

つくり方説明及び安全確保のために、職員が1名活動支援に入ります。

4 準備物

区分	準備物	備考
団体	・監視船借上料 20,000円 (単独校利用で1～2艇は10,000円) ・緊急車両	※必要に応じて熱中症対策 ※複数団体で利用する場合は折半
個人	・いかだ遊びに適した服装 ・タオル、帽子 ・ぬれてもよい運動靴 ※必要に応じて雨具(雨合羽等)	・水着禁止。 ・必ずぬれます。 (長靴、サンダルは不可)
自然の家	★移動用 AED ☆救命胴衣 ・いかだ用具一式 (スチロバール4、マジックテープ8、角材長4、座板3、オール6) ・ハンドマイク ・簡易テント(2張)	★必ず持って行ってもらいます ☆全員着用してもらいます。 ・10艇まで

5 引率者の役割分担

係名	役割
代表責任者	・全体の掌握、指揮、連絡にあたる。
いかだ出発係	・いかだ出発時の安全指導を行う。
いかだ到着係	・いかだ到着時の安全指導を行う。
監視船担当	・監視船に乗り込み、安全指導を行う。
救護係	・緊急時の救護、搬送にあたる。

6 活動の流れ

活動説明（代表責任者・職員）

- ① ライフジャケット借用、後片付けの説明、移動（※スチロバールは所で運搬します）
- ② いかだづくり【職員が作り方を指導】（午前）
- ③ 昼食
- ④ いかだ遊び【職員が乗り方を説明】（午後）
※1回で乗れるのは6人（4人でも可）。その他の参加者は乗り降りの時にいかだを押さえる補助係。
- ⑤ いかだ解体（マジックテープ返却）・トイレ清掃
- ⑥ 物品返却・移動
- ⑦ ライフジャケットをすすいで返却、スチロバール返却
- ⑧ 靴をすすぎ、足を洗って館内へ

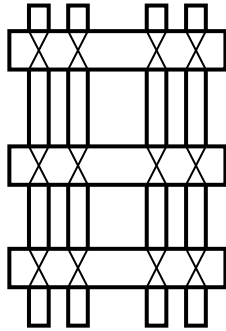
7 その他

- ・ 監視船は風で流されたいかだを誘導したり、海中に落ちた子どもを救助したりする役目を果たすため必要です。
- ・ 漁港は遊泳禁止区域のため、泳げません。
- ・ 活動終了後に、トイレの掃除をしてください。
- ・ むれてもよい運動靴を持って行くことで靴ずれを防止することができます。

《資料》

1 スチロバールいかだの作り方

- (1) 角材4本と座板3枚をロープで結んで型枠をつくります。

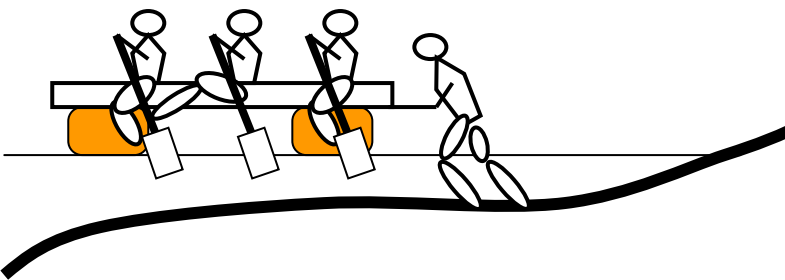


- (2) スチロバールを型枠にロープとマジックテープで結びます。



2 遊び方

- (1) いかだに乗った後、補助の人が自分の膝上くらいの深さまで押し出します。



1・3列目の人は、スチロバールを足ではさみます。
2列目の人は、前のスチロバール等に足をかけます。

※事前にオールの使い方、呼吸の合わせ方等を練習しておくとお楽しみます。

